取扱説明書

注意事項

本製品をご利用いただく前に、必ず以下の注意事項をお読みください。

- ベンチュリーアセンブリーに、適切なカプラーを取り付けてください（図 1）
- エア圧は最低 620kPa 必要です。
- ショップエアには、乾燥システムが必要です。
- インライン・エアフィルターは、定期的に点検し、掃除もしくは交換してください。
- 最良の結果を求めるため、ラジエーター内は可能な限り空にしておいてください。
- 最良の結果を求めるため、冷却システムが冷えた状態でご使用ください。（エンジンが温まった状態ですと、冷却液が沸騰・蒸発するため、24～26 に達しません。温まった状態でご使用になりますと、21～23 となります。
- ヒーターコントロールは、ヒート位置に合わせてください。
- モリブデングリースを使用して、定期的にツールのネジ山部分を潤滑させてください。

注：オーバーフロー・ボトルが付いた冷却システムにおいては、オーバーフロー・ホースをクランプで止めて、本製品を、ラジエータネックへ差し込んでください。

冷却液の交換方法

① 冷却液が入った容器を、交換する場所（リザーバータンク/ラジエーター）と同じ高さ（もしくはそれ以上）に置きます。冷却液が入った容器に交換用ホースを沈めます。

② ラジエーターキャップを外します。

！警告！

怪我や火傷を防ぐ為、エンジンがかかっている時や温まっている間はラジエーターキャップを緩めないでください。　キャップを緩めますと、冷却システム内にかかっていた圧力により、熱い冷却水が飛び出してきて大変危険です。

③ リザーバータンク/ラジエーターネックに合うラバーアダプターを選び、組みます。
＊アダプターは、開口部に合ったサイズのものを選んでください。

④ アダプターをツールに接続して、ツールをリザーバータンク/ラジエーターネックに挿入します。（図2）

⑤ ラドネックアダプターを密閉するには、本体ローレット部を右回りに回します。
（注）　アダプターのバキュームゲージ近くを持たないでください。

⑥ ベンチュリーアセンブリーが接続されており、交換用ホースバルブが閉じていることを確認します（図 3）

⑦ ショップエアをベンチュリーアセンブリーに接続し、バルブボタンを押します。『シュー』という音がし、バキュームゲージの針が上がるのを確認します。
（注意）　ラジエーターホースがつぶれた状態になることがありますが、これは真空引力により発生することで、異常ではありません
（重要）　車輌によっては、真空状態を保つ為、ラジエーターのオーバーフローホースをクランプする必要があります。
（注意）　エアを抜いている間にこぼれ出た冷却液が、作業者やブレーキシステムにかからないよう、注意してください。

⑧ ゲージの値が 24-26 になるまでボタンを押しますと、ゲージの針は約 15 秒間一定の数値を表します。（所要時間は1分以内）
（注意）　ツールとリザーバータンク/ラジエーター間での真空状態が崩れましたら、再度、吸引から行います。

⑨ ゲージが 24-26 を示したら、バルブボタンを離して、その後約２０秒間真空状態が下がらないか様子をみます。　下がるようであれば本製品を外して、必要な修理を行ってください。
（注意）　急上昇した場合は、真空レベルに届いていないことを示します。これは、交換の効率を悪くするものではありません。

⑩ 冷却液を満たすため、ゆっくりとバルブを開きます。バルブを閉じてエアを抜く為にバルブボタンを押します。

⑪ 交換ボールバルブを開くと、冷却システム内に冷却液が入りはじめます。冷却システム内が冷却液で満たされますと、バキュームゲージが　0（ゼロ）になります(図　4)。リザーバータンクの水位が『COLD　FILL』を示すか、ラジエーターが満たされます（オーバーフローシステム）。最低、車両から抜いた冷却液分は補充されます。

⑫ 本体ローレット部を左に回して、ツールを取り外します。
（注意）　ラバーアダプターが外されていることを確認してください。オーバーフローシステムにおいては、ホースのクランプを取り外してください。

⑬ 再度、ラジエーターキャップを取り付けてください。

図 1

図 2

図 3

図 4

USSOUTHARTIC.